

(1)事業の概要等

令和7年度 詳細評価シート

事業番号	B1603-2		事務事業名	図書館業務委託(一般事務事業)			事業期間	平成18年度	～	令和9年度以降								
実施計画事業																		
評価対象年度	令和 6 年度	担当部	教育委員会			担当課・担当係	図書館 図書係											
事業の概要・展開	小牧市まちづくり推進計画(R5年～R8年)	分野別計画編	基本 施策	16	展開 方向	3	事業区分	その他(評価対象)	款	10	項	5	目	9	大	2	中	1
	事業の目的・効果	市民の利便性向上のため、専門的知識を有した業者に窓口業務を委託し、図書館サービスの拡充を目指す。						事業概要	小牧市中央図書館、えほん図書館、東部・北里・味噌市民センター図書室における下記の業務。 窓口業務全般(一部のレファレンス業務を含む。) 資料の発注・受入・装備・排架等 施設配本サービスにおける輸送 など									
	事業の経緯・年度計画	図書館サービスの充実を図るため、平成18年度に導入した。プロポーザルを実施した上で原則として3年間の長期継続契約を締結している。なお、現行の契約期間は令和5年度から令和7年度である。次期契約期間は、令和8年度から令和10年度であり、令和7年度に受託業者選定のプロポーザルを実施する。																

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R3		R4		R5		R6		R7	
			千円	%	千円	%	千円	%	千円	%	千円	%
直接経費	決算額	財源	一般財源	197,444	100.00%	197,444	100.00%	204,600	103.62%	204,600	100.00%	204,600
			国・県支出金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0
			その他	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0
			計(A)	197,444	100.00%	197,444	100.00%	204,600	103.62%	204,600	100.00%	204,600
			対前年比	—	100.00%	103.62%	100.00%	—	—	—	—	
人件費	予算額		千円	197,444	100.00%	197,444	100.00%	204,600	103.62%	204,600	100.00%	204,600
	正規職員		人	0.4	100.00%	0.4	100.00%	0.4	103.62%	0.4	100.00%	0.4
	会計年度任用職員		人	0.3	100.00%	0.3	100.00%	0.3	103.62%	0.3	100.00%	0.3
	人件費(B)		千円	3,803	100.00%	3,803	100.00%	3,803	103.62%	3,803	100.00%	3,803
	事業費合計(C=A+B)		千円	201,247	100.00%	201,247	100.00%	208,403	103.62%	208,403	100.00%	208,403

(3)業績

指標	指標ほか	単位	R3		R4		R5		R6		R7	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
成果指標	貸出利用者数	人	—	338,389	—	325,559	—	324,281	—	320,977	—	—
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
活動指標	レファレンス処理件数	件	—	14,002	—	14,474	—	13,202	—	12,861	—	—
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(4)事業の評価

事業の方向性	縮小	事務事業評価による額	17,300	千円
事業の実施状況	事業の目的の達成状況及び指標の達成状況	令和6年度も専門的知識を有した業者に窓口業務を委託し、安定的な図書館サービスの提供することができた。指標については、「貸出利用者数」「レファレンス処理件数」は、いずれも減少となったが、数値としては、令和3年3月の開館以来、高い水準が維持できていると認識している。		
	今後の実施内容	本市の中央図書館や各市民センターの図書室の開館時間は、他市町の図書館と比較をしても非常に長く、市民サービスが充実しているが、一方では、近年の人員の高騰などの影響から、図書館の管理運営費が右肩上がりであり、図書館業務委託料についても経費削減の取組が必要な状況にある。そのため、本館である中央図書館の開館日、開館時間を維持しつつ、分館である図書室の開室日、開室時間について縮小等の見直しを行う。		
	E(廃止)業務自体を無くせるか	No	改善 取組内容	東部・北里・味噌市民センター図書室の休室日を月1回から週1回にするとともに、各図書室に利用者自身での資料の貸出・返却が可能となるよう、既設の自動貸出機に加えて、自動返却機、予約本受取用ロッカーを整備したうえで、利用者の少ない午後5時から午後8時までの運営を無人とする。
	C(結合)作業をまとめられるか	Yes		
	R(入替・代替)手順や担当を変えられるか			
S(単純化)もっと簡単にできるか				